

ガイドボランティア活動記録(平成 20 年)

山本昌生

当園では平成 13 年 3 月 24 日から大温室などの温室植物を中心としたガイドボランティアを導入した。今回は前号(第 29 号)に続いて、その後の活動や進展について報告する。

導入の経緯については平成 13 年度栽培記録(第 23 号)に記している。

活動中のガイドボランティアは 60 名(平成 20 年 12 月現在)で、1 期生が 16 名、2 期生 7 名、3 期生 3 名、4 期生 15 名、5 期生 10 名、6 期生 9 名である。

ガイド活動は定期ガイドとしてベゴニア温室、大温室、熱帯スイレン温室、フクシア温室、サボテン温室、花の進化園とロックガーデンを毎週土曜日と日曜日、イベント時の祝日に実施している。また、季節に応じてサクラやバラ、ハナショウブ、アジサイなどを案内した。このほかに申込ガイドとして学校の自然体験学習や公民館、老人会、観光ツアー会社などからの申込ガイドに対応している(表 1)。今年は、広島インターナショナルスクールや広島大学大学院の留学生の申込みがあり、英語によるガイドを希望されたため、英語に堪能なガイドボランティアが対応した。ほかに、類似施設である宇部ときわミュージアム熱帯植物友の会トロピカルフレンズと三瓶自然館インタープリターの会からのガイド申込みがあり、ボランティア同士の交流を行った。

また、8・9 月と 12 月に開催した夜間開園では夜の植物を案内した。特に 8・9 月にはサガリバナ、オオオニバス、ゲッカビジン、ヤコウボクなど夜に開花(香る)する植物などをガイドした。

樹木ウォッチングは、毎月第 2 火曜日と第 4 土曜日の月 2 回実施した。サクラやカエデなど園内の樹木を中心に解説した。平成 20 年の日程は、真夏と真冬に案内する植物が少なく参加者も少ないため、2 日間を休みとした(表 2)。

組織作りと自主運営について

平成 19 年度に組織したガイドボランティアの会が、会の運営や活動を自主的に行うこととなり、平成 20 年度から例会前と後のリーダーズ会議や例会時の班会議でガイド方法や研修会などを検討し、例会で決定している。4 月の例会を総会とし、各班で

新しい班長・副班長を選び、代表、副代表などのリーダーズの決定を予定している(留任もあり)。

当番の割り当てについて

これまで、事前に本人が「ガイドをできる日、できない日」の一覧表をガイド開始 3 ヶ月前に提出し、これに基づいて当番表を組む担当者が人・場所・日程を組み合わせた一覧表を作成していたが、〆切を守ることができない人もおり、その数人に催促の連絡をとったり、パソコンへの入力間違いが出たりなど担当者に負担がかかっていた。また 3 ヶ月先の予定を記入するなど随分先のことを提出しなければならないので、提出する人も日程を変更する可能性が高かった。そこで、もっと簡素にし、転記ミスを少なくすること、直前でも希望の日に担当できるように試行した。事前に日程と場所を割り当てないと、各場所のガイドボランティア人数がいなくなるのではという懸念もあったが、大きな問題はなく、当日のミーティングリーダーが、人の割り振りを的確に行うことにより、解決している。また、開花状況やイベントを確認するなど自主的かつ活発に行われるようになった。

例会と研修について

偶数月にボランティア活動の報告・協議について例会を午前 10 時から 12 時までとした。4 月の例会は、ガイドボランティアの会となって、初めての総会で、役員紹介や規約確認、会計報告などがあった。

また、例会時の研修は植物公園の職員により 30 分間ほど不定期に行った(表 3)。植物公園内のバラ、ハナショウブについては職員等による研修を受け、5 月には栽培温室があるバックヤードの案内を受けた(写真 1)。

園外の研修は、ボランティア同士の親睦を兼ねて、5 月に広島県庄原市の道後山クロカンパークを訪れ、ヒメザゼンソウ、サクラソウなどの野生植物を観察した。8 月に広島県廿日市市にある宮島水族館を見学した。同館の職員から概要説明を受け、館内のバックヤードを水族館の教育ボランティアに案内していただいた(写真 2)。普段見学することができない裏側なので、興味深かった。水族館見学後に大元公園で宮島の矮小化した植物について当園のボランティアであり、環境カウンセラーでもある金山氏の説明を受け、実際に矮小化した植物を調査・

観察した。11月に広島市南区の元宇品を訪れ、ツチトリモチなどの野生植物とカメノテや海藻など海岸の生物を観察した（写真3）。11月に広島市安佐動物公園を訪れ、同園のガイドボランティアと交流をもち、動物のガイド方法を見学し、また活動について意見交換をした（写真4）。園内のゾウ舎の裏側、動物病院などのバックヤードを見学し、レッサーパンダなどの動物の案内を受け、非常に参考となった。野生植物の観察は、会員から人気が高く回数を増やして欲しいとの要望があるため、来年度はボランティアの会が6回程度、無理のない範囲で企画することとしている（表3、写真3）。また、情報提供として不定期にガイドボランティア通信を発行した（表3）。

自主活動について

5月4日（みどりの日）・5日（こどもの日）と「秋のグリーンフェア」期間中の11月3日（広島市植物公園開園記念日）・4日にガイドボランティアコーナーを設け、入園者に活動をアピールし、竹馬体験、どんぐりの試食、手作り苔玉販売などを行い好評だった。今年は、新たに竹ポックリ（直径10～15cmの竹を高さ15cm程度に輪切りにし、これに

つけたひもを持ち、足を乗せて歩く遊具）を作り、小さな子も安全に楽しめるようにした。また、クリスマスリースを作り、販売し好評だった。

平成18年4月から毎週行っている屋外植物の開花調査は、有志により継続し、そのデータを例会のミーティングに活用している。入園者へのサービス向上のため平成19年12月から開始した入り口のインフォメーションコーナーは、見ごろの花情報などのきめ細かい案内を行い、さらにガイドを各温室などで実施していることを紹介している。案内の補助に見ごろの花の案内プリントを作成し、配布した（図1）。

秋のグリーンフェア2008実行委員会にガイドボランティアの会も初めて加わり、各種のイベントに企画段階から協力した。大温室に設置されている地上約10mの管理道を参加者に案内するイベントでは、案内する職員の補助を行った。また、平日の入園者増加対策とサービスのため、グリーンガイドツアーを初めて開催し、バラや三大紅葉樹などの園内の見どころを3コース設定し案内した。

自主グループの活動として、植物公園近くの山の植物を定期的に調べ、写真撮影、標本作りを行い、植物リストを作成している。また、もっと子ども達



写真1. 植物公園内のバラ研修



写真2. 宮島水族館のバックヤード見学



写真3. 元宇品の海岸の生物観察



写真4. 安佐動物公園のボランティアとの交流

表 1. 定期ガイド・申込ガイド実績表（平成 19 年度・平成 20 年 4 月～12 月）

月	定期ガイド *1										申込ガイド *2		合 計
	温室				屋外			小計	樹木 ウォッチング	計	件数	人数	
	日数 (日)	ペゴニア 温室	大温室 *3	フクシア 温室	花の 進化園	ロック ガーデン	その他 *4						
平成 19 年 4～12 月小計 *	84	2,205	5,351	2,999	1,405	1,007	633	13,600	393	13,993	21	600	14,593
平成 20 年 1 月	8	142	253	188	54	74	0	711	37	748	0	0	748
2 月	8	222	288	293	79	75	0	957	60	1,017	4	92	1,109
3 月	10	309	468	351	286	350	0	1,764	49	1,813	3	72	1,885
平成 19 年度合計	110	2,878	6,360	3,831	1824	1506	633	17,032	539	17,571	28	764	18,335
平成 20 年 4 月	8	393	870	438	275	245	136	2,357	47	2,404	3	53	2,457
5 月	11	425	802	504	369	406	420	2,926	30	2,956	3	55	3,011
6 月	9	230	347	255	171	164	151	1,318	33	1,351	2	25	1,376
7 月	8	175	243	147	97	54	0	716	36	752	3	40	792
8 月	10	218	676	287	172	75	0	1,428	13	1,441	3	46	1,487
9 月	8	153	621	292	136	101	0	1,303	48	1,351	2	16	1,367
10 月	12	169	287	209	165	110	328	1,268	45	1,313	0	0	1,313
11 月	11	317	778	516	428	238	130	2,407	43	2,450	2	37	2,487
12 月	6	60	138	95	49	34	0	376	12	388	2	70	458
平成 20 年度小計	83	2,140	4,762	2,743	1,862	1,427	1,165	14,099	307	14,406	20	342	14,748

* 平成 19 年の 4～12 月は前号（栽培記録第 29 号）に記したので省略した。

* 1 定期ガイドは土・日の昼間と祝日・夜間開園に実施したガイドと今年新たにグリーンフェアの平日ガイド（10 月 27 日～31 日（5 日間 11 件 155 人））も含めた。

* 2 申込ガイドは団体から申込みがあったガイド。

* 3 大温室は熱帯スイレン温室を、フクシア温室はサボテン温室を含む。

* 4 その他は、サクラ（桜観賞会（6 日間 6 件 68 人）を含む）、バラ、アジサイなど特定の時期の植物案内とグリーンフェアの平日ガイドとした。

昨年集計した入口案内人数は、データが揃わないため今回から未掲載とした。

表 2. 樹木ウォッチング実績表（平成 20 年）

開催日	観察テーマ・コース	参加者数	担当者
平成 20 年 1 月 8 日（火）	冬芽の観察	20	北本
1 月 26 日（土）	温室コース（3）	17	藤井
2 月 12 日（火）	樹林観察園（2）	30	坂本
2 月 23 日（土）	早春の草花	30	池下
3 月 11 日（火）	ウメと早春の花（樹木）	29	若木
3 月 22 日（土）	ツバキの観賞	20	三輪
4 月 8 日（火）	サクラ観賞と香りの散歩道	35	金山
4 月 26 日（土）	うらら池周辺の観察 ツツジ・ シャクナゲなど	12	藤井
5 月 13 日（火）	初夏の園芸植物	15	一橋
5 月 24 日（土）	バラ園	15	池下
6 月 10 日（火）	シダ植物	15	山下
6 月 28 日（土）	日本庭園とアジサイ	18	三輪・石原
7 月 8 日（火）	ブナ科の植物	23	湯出原
7 月 26 日（土）	大温室	13	橋谷
8 月 12 日（火）	休み	—	—
8 月 23 日（土）	花の進化園	13	原田
9 月 9 日（火）	ハギ園	20	坂本
9 月 27 日（土）	秋の野草観察	28	北本
10 月 14 日（火）	ドングリと里山コース	28	中島
10 月 25 日（土）	針葉樹	17	若木
11 月 11 日（火）	木の実の観察	23	一橋
11 月 22 日（土）	カエデ園	20	池下
12 月 9 日（火）	温室コース（大温室）	12	坂本
12 月 27 日（土）	休み	—	—
合 計		453	

表 3. 例会・研修及びガイドボランティア通信一覧表

開催日	場 所	例 会 及 び 研 修 内 容	参加者数
平成 19 年 4 月～12 月小計		(内容は広島市植物公園栽培記録第 29 号に掲載)	202
平成 20 年 2 月 17 日 (日)	植物公園 講堂	例会：屋外の植物の開花調査について、平成 20 年度の研修について（協議） 懇親会・交流会（植物公園職員 3 名参加）	34
平成 19 年度合計			236
平成 20 年 4 月 19 日 (土)	植物公園 講堂	例会：初の総会（役員紹介、規約等の確認）、事業計画承認、会計報告 みどりの日等へのイベント参加について、当番表の内容と当日のミーティング リーダーについて、ジュニアプロジェクトについて	34
5 月 16 日 (金)	庄原市	春の園外研修：庄原市クロカンパークの植物観察 ヒメザゼンソウ、サクラソウ、ウワミズザクラ、オトコヨウゾメ、コバノガマ ズミ、ニオイタチツボスミレなどの観察（マイクロバスの利用）	24
5 月 18 日 (日)	植物公園 バラ園	バラ研修「開花期のバラについて講習」 講師：植物公園栽培・展示課 在岡孝行 6 期生の研修を兼ね、先輩ボランティアも学習した。	11
5 月 24 日 (土) 26 日 (月)	植物公園 栽培温室	バックヤードの栽培温室と苗圃を見学した。 講師：植物公園 職員	30
6 月 7 日 (土)	植物公園 ハナショウブ園	ハナショウブ研修「開花期のハナショウブについて講習」 講師：植物公園植物友の会 会員 三輪 昇	22
6 月 22 日 (日)	植物公園 講堂	例会及び研修 サマーフェアの体験教室への協力、親子植物体験教室への参加について ・研修「コンニャク学入門」講師：植物公園 園長 石田源次郎 ・ガイドボランティア通信 36 号「植物公園ガイドボランティア春の園外研修 会（クロカンパークの植物観察）」（坂本俊弘）	32
8 月 22 日 (金)	宮島水族館	園外研修：廿日市市宮島水族館及び大元公園 水族館のバックヤード見学と水族館教育ボランティアとの交流、大元公園の矮 小化植物の観察と調査	22
8 月 24 日 (日)	植物公園 講堂	例会 秋のグリーンフェアへの参加について、宮島水族館研修報告、秋の園外研修候 補募集 ・研修：アサガオの巨大カーテンについて（植物公園 栽培・展示課 井上尚子）	31
10 月 18 日 (土)	植物公園 講堂	例会：秋のグリーンフェア参加、子ども向け植物ガイドについて検討 ・研修「球根ベゴニアの画期的増殖方法について」 講師：植物公園栽培・展示課 島田有紀子 ・ガイドボランティア通信 第 37 号「植物公園ガイドボランティア特別園外 研修（宮島水族館）」（坂本俊弘）	33
11 月 10 日 (月)	広島市元宇品	園外研修：広島市南区元宇品の海浜植物と海岸の生物の観察 シイを中心とした常緑樹林と絶滅危惧植物ツチトリモチの観察、カメノテなど の生物と海藻の観察・調査	20
11 月 21 日 (金)	安佐動物公園	秋の園外研修：広島市安佐北区の広島市安佐動物公園の見学と ZOO ボランティ アとの交流 ゾウ舎、動物病院のバックヤード見学ほか	19
12 月 13 日 (土)	植物公園講堂	例会：秋のグリーンフェア結果報告、次年度の研修について要望、クラフト作 りに必要な材料提供と協力の呼びかけ、野生植物の観察会充実の提案、2 月例 会の運営方法について、登録班の変更について ・研修「地球温暖化と植物の役割展について」 講師：植物公園管理課 富澤まり ・ガイドボランティア通信 38 号「植物公園ガイドボランティア秋の園外研修 安佐動物公園」（坂本俊弘）	28
平成 20 年度 4 月～12 月小計			306

に来てもらうように、ネイチャーゲームなどの遊びを通じて植物や自然を勉強できるよう体験学習のメニューを考えるグループもでき、ジュニア・プロジェクトと名付けて定期的に勉強会を行っている。

固定ファンが多い樹木ウォッチングは、かなり専門的は内容になってきて、初心者が参加しにくいと

う意見があることから、あまり専門的なガイドは避け、園内の歩きながら見頃の花を広く案内するよう内容を変え、タイトルも「季節の花さんぽ」に変更することとしている。

新規ガイドの募集と養成

体調不良や家庭の事情により、退会する人がいるためと会の活動を充実させるために平成20年11月に広島市の広報誌「市民と市政」、地元の新聞等を通じて新規ガイドを募集した。12名の応募があり、平成21年4月からのガイドデビューを目指して、1月から3月まで、全5回の養成講座を開催することとしている。

今後の計画及び課題

・ガイドボランティアの会リーダーズを中心に会員の意見を反映し、自主運営化を進めていく。

・ガイドボランティアの会と植物公園との連携を密にし、お互いの協力体制をとりながら活動を進めていく。

・新期に募集したガイドボランティアの中には活動開始から日が浅いため、活動ルールの不徹底や他のボランティアとなじみにくい人もいるのではとの意見があるため、特に新しいボランティアには研修や懇親の機会を充実し、活動への意欲やマナーを向上してもらうことが必要と思われる。



図. 見ごろの花の案内プリント